

印刷データ作成時の注意事項

データ作成時のご注意

■作成サイズについて

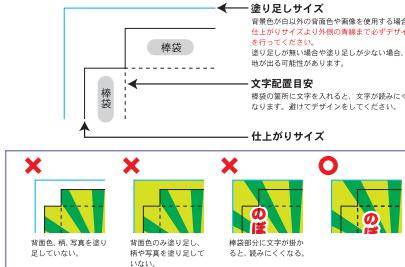
○データは原寸サイズで作成してください。

■データ作成について

- ①すべて編集可能な「**データ**」で作成してください。
- ②文字は**オフセットアート**で作成してください。
- ③色はCMYK（シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック）で作成してください。
※RGBカラーや^はは使用しないでください。
- ④グラデーション、編組がある場合には見積りが変わってくる場合がございます。
- ⑤データは**.ai形式**で保存してください。
※拡張子を必ずつけてください。（拡張子とはタイトルの後に付く[~].aiの事です）

■塗り足しについて

- ①別注品のデザインは入稿される際、**仕上がりサイズより外側の青線まで必ずデザインを行ってください**。
- ②背景色が白以外の背景色や画像を使用する場合は、**仕上がりサイズより外側の青線まで必ずデザインを行ってください**。
塗り足しが無い場合は、白地が出る可能性があります。
- ③桜袋の箇所に文字を入れると、文字が読みにくくなります。避けてデザインをしてください。

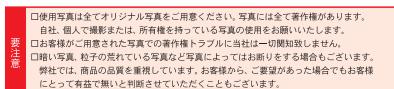


■色について注意点

- 他の再現性は、印刷方法・媒体により異なります。
- パソコンのモニターはイメージが異なるためできませんのでご注意ください。
- 印刷機の媒体差により同じ色設定の出力でも、色の表現が若干異なる場合がございます。

■画像使用について

- ①原寸サイズで解像度100dpi以上の画像をご用意ください。
※画像解像度100dpi以下の画像の入稿に関しては、画像の荒れ等の保証はできません。ご了承ください。
- ②使用した画像は、Illustrator上で埋め込みます、リンクでの配置で作成してください。
- ③データ(.ai形式)と使用した画像は全てフォルダにまとめて入稿ください。
※配置している画像はモレなく全てご用意ください。
- ④画像は.jpg形式で保存してください。
※pdfデータは印刷時に変化する恐れがございます。使用しないでください。
※拡張子を必ずつけてください。（拡張子とはタイトルの後に付く.jpgの事です）



■アウトライン化について

- Illustratorでの入稿の際は、必ずアウトラインの作成をお願いします。
フォントは全てアウトライン化をお願いします。

■特殊効果について

- 口オーバープリント
透明効果、ドロップシャドウ、ぼかしのご利用は入稿時に設定が変わる可能性があるためお勧めいたしません。もしご利用される場合は、必ず「アピアランスの分割」を行って、画面に変換してください。

- 口オーバープリント
トランプの原因となりますので、オーバープリント設定をしないでください。
作成画面での確認はできませんので十分ご注意ください。
ご利用されていることにより、デザインの一部柄や文字が消える危険がございます。

- スウォッチ(パターン)
パターンによる連続した模様を利用している場合、パターンのサイズや模様の位置が変化して印刷される危険がございます。
ご利用される場合は、入稿前に『分割・拡張処理』を行ないパスになった事をご確認ください。

入稿時の注意事項

■データ作成ソフトについて

- 対応OS： Macintosh（※OS10.6.8まで）
対応ソフト： Adobe Illustrator（※バージョンはCS6まで）

■データ入稿についてのおことわりとお願い

- ご入稿いただいたデータの内容や状況によっては再度ご入稿頂く場合もあります。
- データ作成不具合による再入稿に伴い納期が変更になる場合があります。ご了承ください。
- メールの添付以外の方法にてデータを再入稿される際は、お手数ですが必ずご連絡ください。

サイズ：W560×H2020mm
仕立て：上・左棒袋

